

SHIRO TORI 通信

Vo.24

2019 summer

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは
地域と地域を農産物で繋ぎ
農家と消費者の
心の距離を近づける
「株式会社 ベジかける」さん

城取設計ニュース

オススメ！この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録！地元のチカラ この街の企業

cafetias

営業コラム





建築 NEWS

建設現場で厚さしのぐ「扇風機付き服」普及

炎天下でも着るだけで涼しく過ごせる「ファン（扇風機）付き作業服」。発売当初は、ユニホーム業界で「キワモノ」と冷ややかにみられていたファン付き作業服。猛暑による熱中症対策が課題になり、作業着として見直され、最近では人気商品となっています。

ファン付き作業服は、腰部分に取り付けた充電式の小型ファン（扇風機）から衣服内に取り込んだ外気の風で汗を蒸発させ、気化熱が奪われるメカニズムを利用したウエア。建設現場を抱える大手ゼネコンを中心に採用が進んでいます。



平成16年に「空調服」の商標で売り出した商品と同じ名前を社名に冠した空調服では30年の空調服の生産実績は前年から2倍超となる56万着を記録。今年は130万着とさらに大幅な増産を見込んでいます。

今季は紳士服メーカーなどが新規参入し、スポーツやレジャー用途へ市場が広がる中、外気による衣服の膨らみを抑えて見た目のスマートさなども追求されています。2020年東京五輪・パラリンピックを控え、スポーツ観戦向けの需要も見込まれています。



世界遺産に登録された富士山の学術調査と保護・保存・整備のための拠点施設として静岡県富士宮市に2017年に開館しました。
建物のコンセプトは「富士の水の循環と反映」。プリツカー賞受賞者の坂茂氏の設計によるものです。大きな赤い鳥居と、県産松を用いた木格子からなる逆さ富士形の外観が特徴で前面の水盤に富士山の形に映り込み、その存在感をより印象深いものにしていきます。
館内は1階から6階までが螺旋階段でつながっていて、その壁面には富士登山道の風景が投影され、階段を登るだけで富士山登山を疑似体験できます。常設展示の他にも、映像シアターで富士山を体感することができ、子どもにも理解しやすい、実際に富士山登山に挑戦する子どもや、登山まではできない小さな子どもにもおすすめです。



建築探訪

静岡県富士山世界遺産センター

城取設計 ニュース

社員旅行の計画



原稿を書いているのが8月のお盆前、連日暑い毎日が続いています。（因みに今日は会社の暑気払い）

若いスタッフも入社したこともあり、弊社では久しぶりの社員旅行を計画しています。そこでまず始めたのがリサーチアンケート、候補を4つあげ行き先を投票で決めようと考えました。

候補先としてあげたのが、福岡（大宰府天満宮とかグルメ）&長崎（軍艦島）コース、四国（建築デザイン巡り）&讃岐うどんコース、京都（世界遺産巡り）コース、東京大人の修学旅行（オリンピック前の建物巡り）コース。

そんな中こんなニュースが飛び込んできました。長崎市の軍艦島で行われたアスベストの調査で、見学用広場からアスベストとみられる物質が検出されたことが分か



り、長崎市は、31日から観光客の立ち入りを禁止するという。社員から人気のあつた軍艦島はなくなり再度アンケートをとるという運びとなりそうです。また結果については後日報告させていただきます。

おススメ

この一冊

「苦しかったときの話をしようか」

森岡毅（ダイヤモンド社）



ビジネスマンの父が

我が子のために書きためた「働くことの本質」

今回は、著者は寡作ながら、これまで書いた作品がすべてベストセラーになっていく人気作家の森岡毅氏の新书推荐します。本書は就活に悩む娘に向けて、子供の成功を願い書かれたものです。このままでは倒産確実といわれていたUSJをわずか数年でV字回復させたマーケティングの森岡氏。彼がビジネスの最前線を生きてきた実務家としての視点で、娘に必要なフレームワークと、学校では教えてくれない世界の真実を伝えています。仕事がうまくいかず自己評価が極端に低くなっている人や、後ろ向きな仕事をさせられ

て、自分自身の存在価値を疑う状況に追い込まれている人など、就活生のみならず、ベテランの社会人が読んでも実に面白い内容になっています。

我が子への愛が溢れる後半の怒涛の展開で読む人の心に響く感動が広がる傑作ビジネス書です！



森岡毅著
定価・本体1,500円＋税
発売日・2019年4月12日
形態・単行本（308ページ）

特集

施工事例

創業56年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え、過去から未来へつなぐ施設を作ります。

施工事例

地域に
親しまれる
空間づくり

建築概要

名称：フジサワホール
発注者：(有)フジサワ造花
所在地：長野県伊那市上牧
構造・階数：S造・平屋
延床面積：828㎡

敷地は、天竜川にほど近く、伊那谷らしい豊かでやさしい景観に包まれています。伊那の山々や川の美しさ、そして青い空と調和するように、軒先の水平ラインを強調し、落ち着きあるデザインとしました。そしてメイン玄関には、和ろうそくを模した柱を設け、会葬者・施設利用者の方々を迎えます。

建物の中央に中庭を配置することで、葬儀場の一步中に入ると外から閉ざされたイメージをなくし、屋内でも四季の彩りやその日の天候を感じられる開放的な空間となるように計画しました。その中庭を中心として時計回りの動線をつくることで、受付からホール、そして会食会場へと、自然な流れで会葬者をご案内できるように計画しました。また、内装は白を基調とし、清潔感を保ちつつ細部に木材を使用し、さらに木目調の床を採用することで、温もりと穏やかさを感じられる空間としました。



ロビー



式場



中庭



全景



今秋ベーカリー&カフェ OPEN

7月末で閉店しました「からあげセンター南箕輪店」ですが、秋にはベーカリーカフェとして生まれ変わります。高級食パンブームに乗って南箕輪に食パン専門店を作ります。いまTVなどで有名なベーカリープロデューサーとダッグを組み、美味しい食パンとカフェを楽しめる店の準備を進めています。パンの販売はもちろん、カフェにランチに…くつろいでいただけるオシャレな店にします。どうぞ期待!!



カフェタイズ
伊那市西町 5863-1
www.cafeties.com
営業時間
月～金 11:00～18:00
土・日 10:00～18:00



地元のチカラ

この街の企業

今回は農産物の産地間交流を目指す、代表の内山さんが今年4月に南箕輪村で立ち上げた野菜・果物を販売する会社「ベジかける」を紹介します。

取り扱うのは、内山さん自ら交際して農家から直接買付けた野菜と果物、そして農家が手掛ける加工品が中心です。



もともとりんご嫌いだっただといふ内山さん。長野県に移住して初めて食べた新鮮な旬のりんごの美味しさに感動し「産地で採れた新鮮な農産物はこんなにも美味しい」という想いから農産物の産地間交流事業がスタートしました。昨年度までは南箕輪村の地域おこし協力隊として、道の駅の農産物直売所を拠点に活動。その際に内山さんの出身地の宮崎県産の農産物『きんかん』『日向夏』『マングロー』を紹介。どれも長野県では手に入りにくい農産物のため、多くのお客様に喜んでいただき、大変良い評価をいただいたといいます。現在、南箕輪村内に店舗をオープンし、さらに多くの宮崎県産農産物を取り揃えています。その他、上伊那地域で採れた農産物の販路拡大及び強化、そして

地域と地域を農産物で繋ぎ 農家と消費者の心の距離を近づける

(株)ベジかける
(南箕輪村)



上伊那産農産物のブランディングにも力を注いでいます。ベジかけるの役割は地域と地域を農産物で結び、農家と消費者の心の距離を縮めていくこと。消費者に美味しい農産物を紹介することはもちろんですが、ベジかけるで集めた消費者の情報を農家へフィードバックすることも重要な仕事のひとつです。長野県の農家と都市部・宮崎県の消費者、宮崎県の農家と長野県の消費者とが繋がるよう、ベジかけるが架け橋となってその一端を担ってまいります。今後の活動に、ぜひご注目ください。

農産物のスタンダードを覆したい

2016年から長野県南箕輪村の地域おこし協力隊として活動している内山さん。農産物のプロモーションや道の駅立ち上げに参加。協力隊時代、宮崎県産きんかんを20日足らずで1トン近く売りさばいたそうです。多くの消費者に農産物の持つ価値を伝えていきたいと内山さんは話してくれました。



株式会社 ベジかける
長野県上伊那郡南箕輪村 3458-1
TEL:0265-97-1126
HPは現在制作中です

代表の紹介

内山祐輔氏

営業コラム



盛り上がりを見せた今年の夏といえば高校野球長野大会。創部以来初めてとなる決勝進出を決めた伊那弥生ヶ丘高校が飯山高校と対戦、私も当日は息子と応援に行かせてもらいました。

30年ぶりとなる公立校同士の対決は決勝戦にふさわしい好ゲームとなりました。延長戦の末、惜しくも4対5でサヨナラ負けとなり、初の甲子園出場は叶いませんでしたが選手から沢山の感動をもらいました。

少し自分のことを書くと、実は私も伊那弥生ヶ丘高校野球部で、毎日のように野球に明け暮れていた高校球児でした。

最後の夏の大会前にこんなことがありました「今亡き親父が、壮行会で先頭きつて応援しはじめたこと...」「試合前に口数少ない部長からもらった言葉...」「コール

ドゲームを決めたタイムリーヒット...」「佐久長聖に負け、クールだった自分が大泣きしたこと...」「敗戦のあと、父親が頑張ったな!! ありがとうと言ってくれたこと...」どれも今でも鮮明に覚えています。



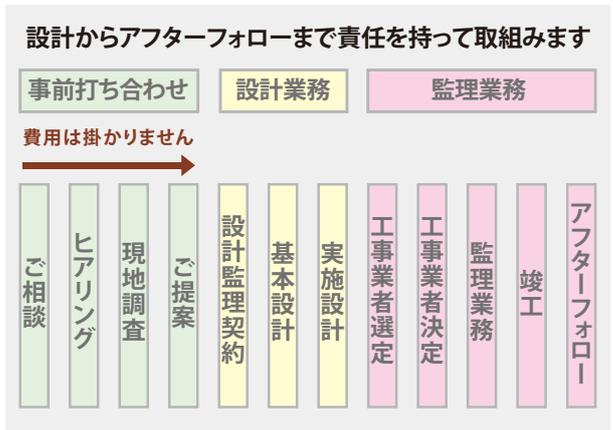
時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。
 私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、
 そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。





株式会社城取建築設計事務所

■ 創立：1963年4月1日

■ 代表取締役：城取健太

■ 資本金：1000万円

■ 登録：(伊那) L第2Y051号

■ 取引銀行：八十二銀行 伊那支店
アルプス中央信用金庫 本店

■ 所属団体：(社) 長野県建築士事務所協会
(社) 長野県建築士会

■ 事業内容

- ・ 建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
- ・ 医療福祉施設に関する企画・設計・監理
- ・ 商業施設に関する企画・設計・監理
- ・ 環境・地域計画に関する計画・設計・監理
- ・ 建物構造調査・診断・設計・監理
- ・ 既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

■ 本社
 長野県伊那市西町 5863-1
 TEL：0265-72-7271
 FAX：0265-72-7270

